

令和2年第3回定例会一般質問通告事項

<p>6 月 18 日</p>	<p>杉原孝一郎議員（尾道未来クラブ）</p>	<p>質問方式：一問一答方式</p>
	<p>1 新型コロナウイルス対策で、『尾道ふれあいの里』を軽症患者の受入れ施設として活用することについて</p> <p>我が国は、軽症患者を受け入れる施設が圧倒的に不足している。尾道市も市民病院の7床だけでは市民の不安を払拭することは出来ません。</p> <p>安倍総理は、可能な限り多くの避難所を開設していく、とおっしゃっており、国からの補助メニューも追加されるでしょう。</p> <p>全国的に見ても最適な優良回復施設となります。ぜひ、検討していただきたい。尾道は、自転車やラーメンだけでなく、公共福祉政策にも万全の対策で臨んでいるまちとして、全国に名を轟かせませんか。市長の見解は</p>	
	<p>2 新型コロナウイルスの影響による、相当、厳しいことが予想される本年度の財政見通しについて</p> <p>(1) 市税の減収は避けられない状況であり、現時点での詳しい予測は困難と思うが、今年度、来年度の市税の見通しについて</p> <p>(2) 新規工事、継続工事にかかわらず、不急な工事をストップし、その予算を新型コロナ対策基金、或いは財政調整基金に戻し、万全を期す考えはあるか</p> <p>(3) 財源の入るを計らなければならないが、その方策として何を考えているか</p>	
<p>3 故大林宣彦監督を名誉市民に叙すことに対する、市長の考えは</p>		